

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：奥村 康博

事業名	一般国道3号 <small>あくねせんだい</small> 阿久根川内道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局	
起終点	自：鹿児島県阿久根市鶴川内 至：鹿児島県薩摩川内市水引町	延長	22.4km			
事業概要						
阿久根川内道路は、南九州西回り自動車道の一部を構成し、災害時にも機能する信頼性の高い高速交通ネットワークの形成、医療アクセス負担を軽減し地域の安心安全の確保等を目的とした道路である。						
H27年度事業化	H26年度都市計画決定 (H-年度変更)	H29年度用地着手	H30年度工事着手			
全体事業費	約1,050億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約2%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	14,500～19,000台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 880/915億円 事業費：810/846億円 維持管理費：70/70億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,340/1,340億円 走行時間短縮便益：1,127/1,127億円 走行経費減少便益：136/136億円 交通事故減少便益：78/78億円	基準年	令和元年	
感度分析の結果						
【事業全体】交通量：B/C=1.4～1.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.3～1.6（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.4～1.5（事業期間±20%）						
【残事業】交通量：B/C=1.5～1.5（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.4～1.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.5～1.6（事業期間±20%）						
事業の効果等						
①広域ネットワークの形成 ・八代市から鹿児島市に至る沿岸部の広域ネットワークを形成することで、地域間の移動時間の短縮が期待される。						
②災害に強いネットワークの構築 ・災害時の避難路や緊急輸送道路として機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成し、九州縦貫自動車道の通行止め時の代替機能など防災機能の強化が期待される。						
③安全・安全の確保 ・第三次救急医療施設等へのアクセス性が向上し、地域の安全・安心の確保が期待される。						
④物流の支援 ・重要港湾川内港から鹿児島・熊本都市圏への円滑な物流が実現し、地域経済の活性化を支援する。						
⑤生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）						
関係する地方公共団体等の意見						
阿久根市をはじめとする9市4町で構成される南九州西回り自動車道建設促進期成会（会長：出水市長）より整備促進の要望を受けている。（平成30年11月）						
県の意見：「対応方針（原案）」案の「継続」については、異存ありません。 当該道路は、九州縦貫自動車道などとともに広域的な高速交通ネットワークを形成し、九州の一体的浮揚に寄与するだけでなく、地域間の交流連携の強化、産業・観光の振興のほか、原子力災害を含む大規模災害発生時における住民の広域避難や物資の緊急輸送などに大きな役割を担う極めて重要な道路であると認識しています。 今後とも、事業が着実に実施され、早期完成が図られるよう、所要の予算の確保をお願いします。						

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域の人口は減少傾向にあるが、交通量は約1.3万台/日で推移し、自動車保有台数は鹿児島県、九州全体を上回っており、自動車交通への依存は高いと考えられる。事業化時と比較して、社会的情勢の大きな変化は認められない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成27年度に事業化、用地進捗率約4%、事業進捗率約2%（平成31年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や施工等に変更はないが、新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



凡 例	
高規格幹線道路	
供用区間	——
事業中区間	——
地域高規格道路	
供用区間	——
事業中区間	——
計画区間	□□□□



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。